



環境展 2016

毎年6月号の最初のタイトルはこれでいこうと決めて毎年書いております。

今年は仕事でいろいろとありまして、見学時間はわずか1時間半ほどでした。本当に一回り歩いて終了といった感じで目新しいものなどを見つけることが出来なかったのが心残りではあります。

今回ふと思ったのが重機の先端に取り付けるアタッチメントのメーカー(販売代理店含む)が昨年より増えていることでした。国産なのか海外製なのかわかりませんでした。少しでも賑やかになるのはいいことです。

また今回は環境展を主催する日報ビジネス(株)が発行する「月刊廃棄物」に広告を掲載することになりました。その打ち合わせも併せておこなってまいりました。広告を打つのは久しぶりとなり、問題なければ7月号から掲載される予定です。

バージョンアップ

スプレー缶・使い捨てライター無害化処理業務委託ですが、本年度も多数の自治体様より委託をいただき誠にありがとうございます。また地元自治体様にも本業務につきまして深くご理解いただいております。

すでに設備を導入してから4年目となり、当社の持つ独自の技術を駆使してのバージョンアップを何度か行いました。そしてこの度大幅なバージョンアップを行うべく計画を進めております。もちろん安全・安心・確実は第一ですのでこれをさらなる

向上を行い、そして作業効率・処理能力の向上、疲労軽減をメインとしたシステムに生まれ変わります。7月中には機械設備につきものの初期の不具合もクリアして運転に入れると思います。もちろんこちらの設備が稼働するまでは既存の設備で通常通り無害化処理を行ってまいります。

この記事を書いている間にニュースが入ってまいりました。八王子市の理髪店でボイラー室でカセットボンベ(カセットコンロ用であれば当然可燃ガス)に穴あけの作業中に爆発したというものです。八王子市は使い切り、穴あけなしで回収しておりますので廃棄物として業者に出すために穴あけをしていたのでしょうか。それとも単純に使い切りのために穴を開けたのでしょうか。ボイラー室(密室・火気あり)で穴あけとはほぼ自殺行為に等しいです。

どうしても残留ガスがありますので、屋外の火気がなく、風通しの良いところで行うのが最低限守るべきものとなります。

このスプレー缶ですが、やはりまだまだ多くの自治体様では穴を開けて資源ごみの日に回収となっております。

ただどちらの自治体の担当者様も穴を開けない回収がいいのはわかっているのですが、その回収方法から変更していかなくてはならず、市民への説明会、市報への連続掲載(単発では認知度が低いので)、回収した後の分別と保管、さらにそれを処理できる業者の選定、又は自前で処理装置を持つかどうかの検討など。そしてどこの自治体様でも一番の悩みはお金がかかるということです。予算が厳しい折、予算の増額が認められにくい昨今、増額になるものは…………。

それでも気になる自治体様はご相談ください。年間にかかる費用の概算をお出しいたします。これに関わるデータもありますのでお気軽にご相談ください。